

## 一小的校内研修(一人1授業)

### 道徳科の学習

令和3年12月7日(火) 第3校時 5年4組

<主題名> 広い心「相互理解・寛容」 資料「折れたタワー」

<学習について>

この学習は、次のような力を育てることをねらいとしています。

じっとうつむく「のりお」の様子を見ていた「ひろし」の心情について、友だちと考えを交流し、相手の立場に立って考え広い心で受け止めようとする心情を育てる。

資料「約束」は次のような話です。

給食当番のひろしは、当番に必要なマスクを忘れてしまった。マスクがないと当番ができず、他の人の迷惑になってしまう。すると、のりおが「どうしてくれるんだ。」と怒鳴るようにひろしを責めた。いつもの給食の時間が少しも楽しくなくなる。数日後、掃除中にのりおが、ひろしの図工の作品である細い木を組み上げたタワーにうっかりほうきをぶつけ壊してしまう。

#### 活動1 アンケートの結果から、授業のめあてをもつ。



##### アンケート

問い：友だちとの間に問題が起こってしまう原因は何？

- 1 悪口を言われたとき
- 2 大事な物を壊されたとき
- 3 無視されたとき
- 4 陰口を言われたとき



まず、ロイロノートという学習用アプリのアンケート機能を使ってアンケートを行いました。

結果を即座に集計することができます。多かったのは選択肢の1番と2番でした。この結果を受けて、学習のめあて「相手とのよりよい関係をつくるために大切なことを考えよう」を設定しました。

## 活動2 資料をもとに、主人公の行為や心情について話し合う。



タブレット端末に資料を提示しました。黒板には場面絵を提示しています。  
まず、怒鳴られたときの主人公「ひろし」の気持ちをかんがえました。



次に、「タワーを壊してしまった相手を主人公が許せるか」考えました。  
ここでは、タブレット端末を活用して、許せるという考えはピンク色カードに、許したくないと言う考えは青色カードに書き分けました。



児童が提出したカードの一覧が画面に提示されています。

相手を許したくないという立場をとる児童（青色カード）が多く見られます。



その後、グループで意見交換をしました。活発な話し合いが行われ、意見が対立する場面も数多く見られました。

